## 「学校における働き方改革推進プラン」の取組状況調査

館山市教育委員会 令和6年12月現在

	項目	達成
1	【取組1-1】業務改善方針や計画(働き方改革推進プラン等)の策定をしている。(P)	0
2	【取組1-2】管下全ての学校へ年1回以上の達成状況の調査等を行っている。(D) 例:「プラン」のチェックリストを活用した調査等の実施 国の「働き方改革チェックシート」を活用	0
	した点検等の実施 【取組1-3】働き方改革に関する項目を学校評価に位置付け、業務改善の点検・評価の取組を推進す	
3	るように指導している。 ( C )	0
4	【取組1-4】調査の結果を踏まえた検証と見直しをしている。(A)	0
5	【取組2-1】教育委員会が国から示された3分類に基づく14の取組の実効性を確保するため、対応	
	<b>策の例を踏まえ、取組を指導・助言している。</b>	
	例:登下校に関する対応は、地域ボランティアとの連絡調整を行い、連携・協働を図る。児童生徒の休	0
	み時間における対応や学校行事等の準備・運営にスクール・サポート・スタッフ等の外部人材を有効活 	
	用する等	
_	【取組2-2】放課後から夜間における見回り、児童生徒が補導された時の対応について指導・助言を	
6	している。例:教育委員会は、児童生徒の補導等の一義的な責任は保護者にあることを踏まえ、学校と	×
	連携した非行防止対策等の取組を進める。 【取組3-1】校長との目標申告の面談で、シートに働き方改革の項目を入れ「業務改善」及び「意識	
7		0
_	改革」に向けた取組状況と、具体的成果を確認し、評価している。	
8	【取組3-2】校長の取組上の課題や働き方改革における「見える化」を適切に助言している。	0
9	【取組3-3】メンタルヘルス対策の推進について、校長が各学校のストレスチェックの集団分析結果	×
	を踏まえ、具体的対策を講じるよう、校長に指導・助言している。	
10	【取組4-1】管下全ての学校で、勤務時間の把握を客観的な方法で行っている。 例:PCの口グ情報、タイムカード、ICカード	0
	【取組4-2】教育委員会が、各学校の勤務状況を定期的に把握し、休日等についても客観的な把握に	
11	努めている。	0
12	【取組4-3】各学校へ具体的かつ継続的な指導を行っている。	0
42	【取組4-4】教職員が退勤時刻を意識して業務に取り組めるよう学校に指導・助言している。	
13	例:定時退勤表示ボードの設置・活用、毎月の退勤時刻グラフによる見える化等	O
14	【取組5-1】教育委員会内に働き方改革に係る組織、委員会等を設置している。	
14	例:働き方改革推進班・係・担当、文書削減プロジェクトチーム 等	0
15	【取組5-2】上記の組織、委員会等で定期的に協議等を行い、取組を進めている。	0
10	全庁的な体制・・・教育委員会内又は首長部局を含めた組織横断的な体制	
16	【取組6-1】働き方改革の優れた取組や先進的な事例等についての情報収集を行っている。	0
17	【取組6-2】好事例について、様々な方法を通じて、管下の学校に積極的に紹介している。	0
	例:研修、学校訪問、ホームページ、リーフレット、協議会の事例紹介	
18	【取組6-3】好事例を参考に、各学校の業務改善に係る指導・助言を行っている。	0
19	【取組7-1】教育委員会が新たな業務を始めたり、管下の学校に求めたりする際には、業務の増加量	0
	を想定し、総業務量が増加しないよう留意している。 【取組7-2】スクラップ&ビルドの観点(または、スクラップの観点)が必要であることを管下の学	
20	•	
	校に指導している。	0
	例:「やめる・へらす・かえる」を踏まえての業務改善学校教育目標に基づいた教育活動の精選と厳 選の指導・助言	
	   【取組8-1】月の時間外在校等時間が恒常的に80時間超となっている教職員の勤務実態について把	
21	握している。	0

	項 目	達成
22	【取組8-2】労働安全衛生管理の観点から、学校長又は当該教職員に対して産業医につなげるなど改善のための指導・助言をしている。	0
23	【取組9-1】管下全ての学校において、体制を構築し、実際に活用している。	0
24	【取組9-2】勤務時間外の保護者や外部からの問合せ等へ対応している。	0
25	【取組9-3】緊急時の教育委員会事務局等への連絡方法を明確化している。	0
26	【取組9-4】教育委員会の方針のもとに各学校を通じて保護者に理解と協力を依頼している。	0
27	【取組10-1】「クラウドサービス型グループウェア」を活用できる環境を整備し、連絡手段のデジタル化について、管下の学校に研修等を行い、指導・助言を行っている。例:校務支援システム、Microsoft Teams、Google Classroom 等教職員間での情報交換の励行や会議資料のペーパーレス化等	0
28	【取組10-2】校務のDX 化に向けたICT 環境の改善、研修の実施等、支援を行っている。	0
29	【取組11-1】学習用ツールを整備・活用した業務改善と効果的な活用について指導・助言している。	0
30	【取組11-2】ヘルプデスクの運営やネットワークのトラブル等に対応している。 例:各種設定業務、学校外の学びの通信環境整備、セキュリティーポリシー改定支援 等	0
31	【取組11-3】学びのDX を実現するための教育委員内で支援人材の育成及び配置を行っている。	0
32	【取組12-1】管下全ての学校において、令和5年度当初において標準授業時数を大幅に上回っている教育課程を編成していた学校を、令和6年度以降の教育課程編成において、見直すことを前提に点検等を行い、指導・助言を行っている。	0
33	【取組12-2】点検・見直しの結果、指導体制や教育課程の編成の工夫・改善等により、指導体制に 見合った計画とし、学校における教育課程編成の改善が適切に行われるように指導・助言を行ってい る。	0
34	【取組12-3】災害や流行性疾患の学級閉鎖などにより当該授業時数を下回った場合、下回ったことのみをもって学校教育施行規則に反するものでないということを教育委員会として地域や保護者に対して伝えている。	0
35	【取組13-1】活動時間や休養日の設定状況や順守状況について、学校の実態を把握している。	0
36	【取組13-2】部活動ガイドライン等を順守し、部活動指導の従事時間の縮減や負担軽減につながる 取組を行うことの意義について、継続的に学校を指導している。	0
37	【取組13-3】活動方針や年間の活動計画(活動日、休養日、参加予定大会日程等)の公表について、学校を指導している。	0
38	【取組13-4】部活動の地域移行に向けて前年度よりも取り組んでいる。	0
39	【取組14-1】学校に対して、年間を通じた大会・行事等の参加計画(スケジュール)の点検(回数 や日数が適正か、過度な負担にならないか等)を促している。	0
40	【取組14-2】引率以外の業務(役員、審判等)により、過度な負担とならないように、大会の参加 方法について指導している。	0
41	【取組14-3】必要に応じた見直し(参加する大会の絞り込み、日程の調整等)について校長会議等 で指導・助言している。	0
42	【取組15-1】教育委員会は、国の「調査・統計への回答等」の改善のため調査内容の見直しや精選 の推進等を前年度よりも行っている。	0
43	【取組15-2】教育委員会において独自に実施する調査等の見直しや学校等への一律の依頼や配付を 各教育委員会の判断で控えるように留意している。	0
44	【取組15-3】調査の実施方法等を工夫し、学校の負担軽減を図っている。 例:様式電子化、WEBアンケート、他課との情報共有フォルダの作成(調査の重複防止)、調査の重複 を防ぐための点検組織、隔年実施、対象抽出等	0
45	【取組16-1】市町村教育委員会主催の研修会等の必要性や実施方法について、検証・精査している。例:研修会等の統合、対象者の限定、日数・時間の短縮、等	0

	項 目	達成
46	【取組16-2】オンラインでの開催を検討し、可能な限り移行している。	0
47	【取組16-3】前年度と比較して、研修会等の回数が減少している、又はオンライン開催への移行が増えている。	0
48	【取組16-4】管下の学校に対して、研修会等の整理・精選をするよう指導している。	0
49	【取組17-1】勤務の実態に応じた割り振り等が可能であることを周知している。	×
50	【取組17-2】具体的な運用について、指導・助言をしている。 例:朝の補習への対応、登下校時の交通安全指導、スクールバスに係る対応,学校行事への対応、育児・	×
51	介護に係る勤務 【取組17-3】1年単位の変形労働時間制の活用もできるように周知し、規則の改正等の環境整備を 進めている。	×
52	【取組18-1】国の指針に規定されている「終業から始業までに一定時間以上の継続した休息時間を確保」する取組について、学校における実施に向けた効果的な在り方について検討を進めている。	×
53	【取組18-2】休憩時間の設定については、放課後に設定した上で、当該時間には職員会議を開催しないこととした等の取組例もあることから、学校がこれらも参考としつつ、勤務時間の途中に休憩時間を適切に確保できるように指導・助言をする。	×
54	【取組19-1】スクール・サポート・スタッフや部活動指導員等の配置を促進している。	0
55	【取組19-2】学校の実態に応じた配置となるよう留意している。	0
56	【取組19-3】配置された人材の効果的な活用についての指導・助言を行っている。	0
57	【取組20-1】学校運営協議会導入(県立学校については原則令和7年度までに)に向けて地域連携を図られるよう教育委員会として学校教育の効果を地域に伝えている。 例:コミュニティ・スクール・サポートセンターやCS アドバイザーの活用 等	×
58	【取組20-2】取組の実効性を高めるために地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員等の配置を 図っている。	×
59	【取組20-3】各学校から保護者や地域に対して説明会や文書配付等を実施する際、デジタル化も含めて必要な助言を行っている。例:市町村HPの掲載や地域向けた便り等で周知等	×
60	【取組21-1】保護者や地域住民からの要望や提案等について、教師が個人として対応するのではなく、学校が組織としてスピード感を持った対応、情報共有が一連の流れとしてできるように指導している。 例:教員 主任 教頭 校長等	0
61	【取組21-2】過剰な苦情や不当な要求等の学校だけでは解決が難しい事案については、教育委員会等の行政の責任において対応することができる体制の構築をしている。例:法律相談や弁護士相談ができる体制を整備している。	0
62	【取組22】学校事務の共同実施を積極的に行うとともに、服務監督権者ごとの共通の庶務事務システムを整備し、学校事務の効率化を図る。	0
63	【取組23】支援が必要な児童生徒・家庭への対応に関して、高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育支援員等の学校への配置を促進する。	0
64	【取組24】県教育委員会と市町村教育委員会は、学校の業務改善及び教職員の意識改革の取組について、連携を図り推進する。	0
65	【取組25】教育委員会として、緊急時の連絡方法を確保した上で、管下学校の学校閉庁日を、長期休業期間中に年間5日以上設定する。	0